

とちおとめ 出荷始まる 真岡

【真岡】2014年産（13年10月～14年6月）の県産イチゴ「とちおとめ」の出荷が1日、JAはが野で始まった。

二宮パッケージセンターに約36キが持ち込まれた。同職員らが大きさをや形、色などを見極めた上で選果し、等級ごとに計130パック（1パック280g）に詰めた。同日中に東

京の大田市場に運ばれ、2日に市場販売される。同JA管内には600を超えるイチゴ農家があり、13年産のとちおとめの出荷量は約8200ト。県内の3割

超を占め、昨年は最高が付いた。

同JAの担当者は「ことしは猛暑だったため各農家とも管理に



出荷され、選果された「とちおとめ」等級ごとの出荷が始まった

苦勞した。

それでもおむね順調で、例年並みの出荷量になるのは」と話した。

（鈴木茂樹）